



ガンマナイフ モデルC-APSへバージョンアップ



【Gamma Knife Model B】



【Gamma Knife Model C-APS】

ガンマナイフ手術の実績

定位脳放射線手術装置 ガンマナイフは直径 3 cm以下の頭蓋内病変に対し、治療精度、機能実績ともに世界最高と評価され、200 台以上が世界各地で稼働しています。当院でも 1997 年に導入され、脳腫瘍を中心に年間 300 例、通算 2000 例を超える症例を経験しています。

最新鋭機 モデルC-APSについて

モデルCでは患者様の頭部の位置が自動的に移動し、0.1 ミリ単位での位置調整が可能なシステムが搭載されました。旧型のモデルBと比べ、治療時間の短縮とともに治療精度が上昇することにより、患者様の負担も軽減され、さらなる治療効果の向上が期待できます。

定位放射線外科センターの展望

平成 16 年 9 月より稼働を開始しているノバリスは治療制限が無いため、ガンマナイフでは治療困難とされる病変でも治療を行うことができます。頭頸部だけでなく、脊椎腫瘍・前立腺癌などの全身の病変に対してもノバリス治療を行います。浅ノ川・定位放射線外科センターでは、ガンマナイフとノバリスの両者を適正に使い分け、さまざまな病変に対応できる定位放射線手術を実現します。

Q&A

入院から退院までの治療の流れは？

実際の治療に要するのは 1 日のみのため、通常 2 泊 3 日の短期入院となります。



治療時間は 3 ~ 4 時間程度で、治療に伴う体の負担や副作用が極めて少ないので、治療翌日から普通の生活に戻ることが可能です。

その他、気になることなどございましたら脳神経外科外来までご相談ください。